



数学のオンライン授業の資料を確認する熊本高専の教員。学生と画面を共有しながら授業を進める＝合志市

新型コロナ

高専 オンラインで再開

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休校を続けてきた熊本高専は11日、ICT（情報通信技術）を活用して通常の時間割に沿ったオンライン授業を始め、学校を再開した。

八代、合志両市のキャンパス（学生計1411人）は、2月26日から春休みを含めて約2カ月半休校。入学式も中止した。

オンライン授業はマイクロソフト社のウェブ会議システム「Teams（チームズ）」などで学校にいる教員と自宅の学生をつないで実施。学生は自分のパ

ソコンやスマートフォンで授業を受ける。

合志市の熊本キャンパスでは、教員が各自の研究室でパソコンを操作しながら資料などを示し、授業を展開。マイクやチャット機能で学生の質問に答えた。体育も自宅でできるストレッチや筋力トレーニングの動画を配信する。

同キャンパスの永田和生准教授（43）は「一人一人と質疑応答の時間を確保し、学生の理解を深めるようにしたい」と話した。

（木村恭士）